

「安全・安心」「健康・快適」「住まいの情報」「工法・設計」「これからの家づくり」の5大テーマ

住まいのあらゆる悩みに応える総合展示会

～「住まいの耐震博覧会」「木と住まいの大博覧会」を京都パルスプラザで開催～

◆ ニュースポイント ◆

6月18日に大阪府北部で発生した震度6弱を記録した地震は、42,000棟を超える建築物に一部破損などの被害を与えました。2018年に入り震度5弱以上の地震は7回発生しており、住まいの耐震化は急務となっています。また、西日本を中心に甚大な被害を与えた「平成30年7月豪雨」など、気候変動を因とした豪雨被害も増加するなど、私たちの暮らしは常に様々な自然災害の脅威にさらされています。そのようななか、耐震性能や耐風性能に優れたレジリエンス性の高い住まいや、災害に強い暮らしが求められています。

「住まいの耐震博覧会」「木と住まいの大博覧会」は、住まいや木材に関連する国内外の住宅関連事業者や、自治体、学術機関などが一堂に会し、一般ユーザーからプロユーザーに至るまで、地震に強く安全・安心でレジリエンス性が高い住まいづくりに関する最新の情報について、幅広く発信する総合展示会です。

会場では、京都市が住まいの耐震化に関する相談窓口を設置するほか、様々な住まいの相談や、中・大規模建築物の木造化・木質化の相談に応じます。更に、北山スギに代表される良質な産地を有する近畿圏の木材資源を活用した「木づかい」への取り組みや、資源循環型社会の形成につながる日本の木材利用を促進する取り組みをご紹介します。

2018年は、「安全・安心」「健康・快適」「住まいの情報」「工法・設計」「これからの家づくり」の5つのテーマで、8月25～26日の2日間、京都パルスプラザにて開催します。

【テーマ①】「安全・安心」地震に強い住まいづくり（新築及び耐震改修）と防災対策

近年発生している大地震では、建物の倒壊による人的被害や経済的損失だけでなく、自宅に居住できなくなることで生じる問題もクローズアップされています。これからあるべき住宅の地震対策や防災対策などを、展示や無料相談などを通じて提案します。

【テーマ②】「健康・快適」ZEHやスマートウェルネス住宅など、快適に暮らせる省エネ住宅を紹介

木は調湿性や保温力、リラックス効果など、住まい環境や健康に良い影響を与える特長を持っています。木をふんだんに使った住まいが、人の身体に与える影響などについて分かりやすく紹介するほか、ZEHや健康寿命の延伸に寄与するとされるスマートウェルネス住宅について解説します。

【テーマ③】「住まいの情報」国内外の住宅関連・木材関連メーカーや自治体が多数出展

国内外の住宅設備機器メーカーが多数出展し、今期注目の新商品や大人気商品を展示します。京都府をはじめ、良質な地域産木材を取り入れた住まいや暮らしを提案するほか、京都大学などによる木材や木造建築に関する最新の研究を、リレーセミナーなどを通じて紹介します。

【テーマ④】「工法・設計」建築物の木造化について実物大構造躯体で提案

地域産材を使用した木造住宅を紹介するほか、高齢者施設や学校などの公共施設をはじめ、店舗などでも注目が高まる建築物の木造化について、「木造ゼネコン®」としてご相談に応じます。

【テーマ⑤】「これからの家づくり」住まいと人がIoTでつながる「コネクティッドホーム」

AIスピーカーの登場により、人間と様々な機器類がインターネットを介してコミュニケーションできる時代が到来しつつあります。その一端を実際に体感できるコーナーを設けます。

「住まいの耐震博覧会」「木と住まいの大博覧会」の見どころ

【テーマ①】「安全・安心」 地震に強い住まいづくり（新築及び耐震改修）と防災対策

- 「耐震等級3」の住まいづくり

「耐震等級3」とは警察署・消防署など、災害時の拠点となる建物に必要とされる耐震基準で、建築基準法で定められた強さの1.5倍の耐震強度を備えた建物です。会場では、熟練した技能を必要とせずに、耐震強度に優れた住まいを建築可能なオリジナルの金物工法による建て方実演をご覧いただけます。



耐震性・施工性に優れた工法を組立実演

- 耐震診断と耐震改修の啓発

1981年以前に建てられた旧耐震基準とそれ以降の耐震基準の違いなどを電動の構造模型で説明するとともに、最新の耐震補強部材等を展示いたします。NPO法人住まいの構造改革推進協会の耐震技術認定者が無料でご自宅の耐震相談にも応じます。



電動の構造模型で、耐震化が学べます

- 木製フェンスのご提案

大阪府北部地震によるブロック塀の倒壊事故を踏まえて東京都の施設で導入が予定されるなど、注目が高まっている木製フェンスについて、耐候性・耐久性に優れた素材による実例で紹介いたします。



耐久性に優れた木製フェンスを提案

- 京都市などが相談ブースを設置

京都市による個別ブースが設置され、同市が実施している耐震改修をはじめとした住宅に関する補助金の相談などをお受けします。

【テーマ②】「健康・快適」 ZEHの仕組みや、木のぬくもりが住まい環境や健康に与える影響

- ZEHとは何かを分かりやすく解説

ゼロ・エネルギー住宅の仕組みを分かりやすくご提案します。住宅会社や工務店向けに、ゼロ・エネルギー住宅の具体的な商品化に向けたご提案を行います。住まいを、夏には涼しく、冬には暖かく保つことができる新しい断熱材についても紹介します。



新素材「Gywood」による内装材や家具などを提案

- 新素材「Gywood（ギュッド）」による内装木質化を提案

軟らかく傷つきやすいという針葉樹の無垢材の弱点を克服するとともに、針葉樹と広葉樹の物理的な長所を兼ね備えた無垢の新素材「Gywood（ギュッド）」による木質化を提案

【テーマ③】「住まいの情報」住宅設備・木材メーカーの新商品や自治体・学術機関の取り組みを紹介

- 国内外の有力住宅設備機器メーカーによる注目の新商品

国内外の建材・住設機器メーカーにより、外壁や水回り、屋根材など住宅を形づくるあらゆる商品を展示します。各展示ブースでは、様々なデモンストレーションを交えて最新商品を紹介いたします。



一大ショールームのような会場

- びわ湖・淀川流域の良質な木材による暮らしを提案

びわ湖・淀川流域から産出する良質な木材を「びわ湖・淀川流域材」として紹介し、関連事業者が連携し流域材を活用した住まいや住まい方を提案します。

- 木のある暮らし、素材としての木材の有効性

京都府をはじめ、滋賀県、和歌山県、徳島県の4府県が出展し、近畿地方の良質な地域産木材を中心に、木材を用いた家づくりや内装材、家具材などを展示するほか、京都大学や京都府立大学が木や木造建築に関する最新の研究の展示や、リレーセミナーを行います。



昨年の京都府ブース

【テーマ④】 「工法・設計」 中・大規模建築物の木造化

- 「木造ゼネコン®」としての取り組みを紹介

木造で大空間を実現できる6種類の梁を、実物大の構造躯体で、提案します。会場では、建築物の木造・木質化について、企画・設計、調達、加工、施工をワンストップで行うことができる当社が、具体的な相談に応じます。



耐火性能に優れ、高層ビルも建築可能な木質部材を紹介

【テーマ⑤】 「これからの家づくり」 手軽な住まいの快適化

- コネクティッドホームの紹介

今話題のAIスピーカーと、テレビや照明、エアコンなどの機器をインターネットでつなぎ、実際に音声で操作できるコーナーを設置します。

◆ 開催概要 ◆

名 称：住まいの耐震博覧会
 日 時：8月25日（土）10：00～17：00
 8月26日（日）10：00～16：00
 入場料：無料
 会 場：京都パルスプラザ
 主 催：ナイス株式会社
 出 展：国内外住宅関連事業者・団体
 後 援：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部
 （一財）強靱な理想の住宅を創る会、（一社）木と住まい研究協会、（一社）ステキ信頼リフォーム推進協会
 NPO法人 住まいの構造改革推進協会

名 称：木と住まいの大博覧会
 日 時：住まいの耐震博覧会と同様
 入場料：無料
 会 場：京都パルスプラザ
 主 催：（一社）木と住まい研究協会、（一財）木構造建築研究所、ナイス株式会社
 出 展：木材事業者、自治体、学術機関・団体
 後 援：林野庁、京都府、滋賀県、和歌山県、兵庫県、奈良県、徳島県、（公社）国土緑化推進機構
 美しい森林づくり全国推進会議、（一社）全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、（一社）日本木材学会
 （公社）日本木材加工技術協会、（公社）日本木材保存協会、（公社）日本建築士会連合会、
 （一社）日本建築士事務所協会連合会、（公社）日本建築家協会、（一財）日本木材総合情報センター
 ナイスパートナー会連合会、素適木材倶楽部、（一財）強靱な理想の住宅を創る会
 （一社）ステキ信頼リフォーム推進協会、NPO法人 住まいの構造改革推進協会、びわ湖・淀川流域協議会

【会期中の取材に関するお問い合わせ先】

ナイス株式会社 広報室：森・内野

〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8階

TEL：045-501-5048 FAX：045-502-5891

建築物への木材活用 シンポジウム



参加費
無料
定員80名

日時

8/25 (土)
11:00~13:00

場所

京都パルスプラザ
5F ラウンジ

公共建築物等木材利用促進法が施行されて7年が経過し、様々な地域や用途で建築物を木造化・木質化する機運が高まってきました。

平成31年度より、森林環境譲与税(仮称)がはじまります。間伐や、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発活動といった、市町村が行う森林整備及び木材利用の促進に関する費用に活用されることが期待され、我々を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

この度「建築物への木材活用シンポジウム」を開催し、資源循環型社会の形成に向けた木材活用に関する様々な情報を、設計者や施工者、発注者、行政関係者等に対して提供するシンポジウムを開催致します。



第1部 基調講演

11:00 ~ 11:30

林野庁 近畿中国森林管理局長 高野 浩文氏

第2部 トークセッション 11:30 ~ 13:00

サステナブルな木造建築の新たな潮流に向けて



パネリスト

京都大学 生存圏研究所
生活圏構造機能分野 教授
五十田 博氏



パネリスト

京都府立大学大学院 教授
古田 裕三氏



パネリスト

京都府産木材利用推進協議会 会長
ホリモク株式会社 代表取締役
堀井 誠二氏



パネリスト

京都府 農林水産部 林務課 課長
木村 均氏



パネリスト

ナイス株式会社
代表取締役会長
平田 恒一郎氏



パネリスト

東京大学 名誉教授
(一社)木と住まい研究協会 代表理事
有馬 孝禮氏

モデレーター

(一財)木構造建築研究所 常務理事 遠藤 雅宏氏

セミナー 13:45 ~ 14:45 場所: 5F 第2会議室

木造建築物の未来~なぜ木材を使って高層ビルを建てるべきなのか~

株式会社シェルター 常務取締役 安達 広幸氏

都合により変更する場合がございます。あらかじめご了承ください

シンポジウム・セミナー会場



セミナー・シンポジウム 申し込みはこちらから

■お申込方法

QRコードの受付フォームか、または [京都住まいの博覧会セミナー](#) 検索へアクセスして必要事項をご記入の上お申し込み下さい。

■シンポジウム・セミナーは事前申込制となります。

申込案内

※当日は名刺を2枚ご用意下さい。



受付フォーム

メールでのお問い合わせはこちらへ

event@mjkk.or.jp

主催



一般社団法人
木と住まい研究協会